

# 劇場を経験しよう

## 舞台美術・舞台照明・舞台音響の デザイナーを志す人たちのための デザインのワークショップ

技術の根幹を創出する芸術的な発想力、想像力、構想力が今、切実に求められています。この講座では技術的な分野の壁を取り払い、想像力を駆使する機会にしたいと考え、今までと一味違った講座として企画しました。それぞれの中に秘められている豊かな発想力、想像力、構想力を発見し将来の糧としてももらいたいと思います。

◆演出家 藤井清美

◆照明デザイナー 黒尾芳昭

◆舞台美術デザイナー 伊藤保恵

◆音響デザイナー 市来邦比古

内 容：演出家からの課題に個々に、あるいはチームでプレゼンテーションを重ねてパフォーミングアーツにおけるデザインワークの基礎をつかむ

期 間：2004年8月2日(月)から12日(木)のうち9日間

※7日(土)、8日(日)は休み

場 所：稽古場、作業場、シアタートラム

募 集：舞台美術、舞台照明、舞台音響 各5名 計15名 (9日間参加可能のこと)

参加資格：△各デザイナーを目指す若手プロ

△プロを目指して専門コースを学ぶ学生

△デザインワークを学ぼうとする若手芸術家

申込方法：電話申込後、講座申込書(本書裏面)に所定事項を記入のうえ、FAXあるいは郵送(お問い合わせ・郵送先は裏面に記載)

受付開始日：6月1日(火)

申込締切：7月19日(月)必着

書類選考：7月20日(火) ※結果は電話またはFAXにて通知

参加費：27,000円

注：この講座は機材の使用法を学ぶ講座ではありません

お申込後、事務局より合否の連絡を受けた後、7月29日(木)までに参加費を下記の銀行にお振ください。

振込後のキャンセルはできません。

口座振込 UFJ銀行 三軒茶屋支店

普 No.3534156 (財)せたがや文化財団

(但し、振込手数料は申込者負担)

振込先

主催：財団法人 せたがや文化財団 <http://www.setagaya-ac.or.jp/sept/>

作品つくりと講座から学ぶ劇場と劇場技術の全て』  
劇場がプロとしての基礎を学ぶ学校に变れます。

演出家・舞台美術デザイナー・照明デザイナー・音響デザイナーとともに学ぶ9日間。

昨年優れた成果をあげた本講座、講師陣も新たに再び開催！

### 藤井清美 (ふじい きよみ)

劇作家・演出家。

筑波大学第一学群人文学類卒業。卒業論文のテーマは「イギリス王政復古期の演劇における女優について」。

93年より劇団青年座文芸部に所属。

鐘下辰男・栗山民也・水谷龍二・宮田慶子らの演出助手を務める。96年自作「琥珀の中で眠るもの」を初演出。劇団青年座公演では「君はこの国を好きか」、「カゾク カレンダー」の脚本。外部公演ではクラック・ラック公演「Just a family~ただ、家族なだけ」、外波山文明プロデュース「春の海月」の作・演出、劇団仲間公演「青い図書カード」脚色・演出、劇団朋友公演「元禄・馬の物言い」演出等。

2000年日本テレビシナリオ登竜門優秀賞を「The Last 10months~10か月~」で受賞し、以降映像のシナリオも手がける。

### 黒尾芳昭 (くろお よしあき)

1954年、東京都生まれ。舞台照明家。

慶應大学卒業後、つかこうへい事務所公演に照明スタッフとして参加。服部基氏に師事する。

加藤健一事務所公演「審判」より照明デザイナーとしての活動を開始し、1992年(株)アザーを設立。

劇団そとばこまち、Cカンパニー、NOISE、第三エロチカ、アーリータイムリーズ、黒テント、青い鳥、東京音組、善人会議(現・扉座)など、照明を手がけた劇団は数多く、現在は主に、演劇集団キャラメルボックス、G2プロデュース、AGAPE Store、トランス、Donna-Donnaなどの照明プランを担当。

最近の作品としては、キャラメルボックス「我が名は虹」「ヒトミ」、東宝芸能「フレンズ」、AGAPE Store「しかたがない穴」、トランス「クレオパトラの鼻」、G2プロデュース「止まれない12人」、こんにゃく座「森は生きている」、バルコ・リコモーション「人間風車」などがある。

### 伊藤保恵 (いとう やすえ)

舞台美術家。桑沢デザイン研究所卒業。

朝倉撰氏に師事。

1988年、ミュウカンパニー設立。

芝居・コンサート・イベント・衣裳デザイン等も手がける活動を展開している。

主な作品

「ラ・ヴィータ」遊戯機械全自動シアター、「ザ・近松」(衣裳デザイン) abcミュージカル、「椿姫」パルコ劇場、「笑いの大学」パルコ、「チューリップ再結成コンサート」、「きららの指輪たち」東宝、「オーマイババ」遊戯機械オフィス、「そして誰もいなくなった」ポイント東京、「山口元氣伝説」きらら博スーパーテーマ館、「春が来た」東宝、「ア・ラ・カルト」青山円形劇場

### 市来邦比古 (いちき くにひこ)

1949年福島県生まれ、電気通信大学中退。

舞台音響家。現在世田谷パブリックシアター・サウンド・チーフ。劇団第七病棟所属。

1970年代より音響プランナーとして活躍。現在パブリックシアターを中心に多くの演劇公演、ダンス公演に参加。

主な作品

「ぼくらが非情の大河を下る時」('72)、「ふたりの女」('75)、「秘密の花園」('82)、「子供の領分」('83)、「ビニールの城」('85)、「ラストアジア」('86)、「パラダイス・ロスト」('87)、「流山児マクベス」('88)、「黄昏れて途方に暮れて」('89)、シアターコクーンレパートリー「真夏の夜の夢」('91、「92、「94)、「スカパン」('95)、「雨の塔」('00)、「秋家の三姉妹」('00)、「アメリカ」('01)、「こんにちは母さん」('01)、「ふたごの星」('01)、「新明暗」('02)、「ゴロブリヨフ家の人々」('03)、「心と意思」('03)ほか

### 「照明・音響の初めの一歩」の予告

プログラム予定：初めて機器を触る人たち向けの舞台照明と音響の基礎的な実習

申込み開始は6月14日から(詳細は別刷りチラシ・ホームページ参照)

日時：8月8日(日) 13:00~18:30 場所：シアタートラム

### 「公開講座」の予告

プログラム：演出、舞台美術、舞台照明、衣裳、舞台監督、制作

申込み開始は6月21日から(詳細は別刷りチラシ・ホームページ参照)

日時：8月13日(金)・8月14日(土)・8月15日(日) 13:00~18:30